

# 計画の目標指標（案）

★ 重要業績評価指標（KPI）に掲げる目標値達成を通じて、「目指すべき姿」の実現を目指します。

目指すべき姿	KPI (重要業績評価指標)	単位	設定理由	基準値	目標値		目標値設定の考え方	
					中間 5年後 (令和9年度末)	期末 10年後 (令和14年度末)		
<p style="writing-mode: vertical-rl; color: red; font-weight: bold;">持続可能な未来に向けて 人が交わり 新たな価値を生み出す 魅力あふれるまち 草津</p>	戦略1 イノベーションの創出支援							
	KPI①	市・商工会議所による創業支援者数	者	創業支援に対する取組の成果を把握することができるため。	53 (令和3年度)	325 (延べ)	650 (延べ)	・前年度の創業支援実績（53者）よりも、支援者数を増加させるため、「65者/年」を目標値として設定する。
		内、創業者数			28 (令和3年度)	175 (延べ)	350 (延べ)	・前年度の創業実績（28者）よりも、創業者数を増加させるため、「35者/年」を目標値として設定する。
	KPI②	市コーディネータ等の活動による企業対応件数	件	商工会議所と立命館大学に配置するコーディネータを通じ、事業者の抱える課題やニーズを掘り起こし、企業間のマッチングや支援制度の活用支援、産学官金連携の促進など、活動の成果を把握することができるため。	660 (平成29年度～令和3年度平均)	3,300 (延べ)	6,600 (延べ)	・直近5年間の平均実績（660件）と同水準の活動量を継続することを目標として設定する。「660者/年」を目標値として設定する。
		マッチング成立件数			40 (平成29年度～令和3年度平均)	225 (延べ)	450 (延べ)	・直近5年間の平均実績（40件）よりも、マッチング成立件数を増加させるため、「45者/年」を目標値として設定する。
	戦略2 経営基盤の強化支援							
	KPI③	支援制度の活用による企業の施設更新件数および市内立地件数	件	市内企業の施設更新（工場等の増改築等）や企業の新たな市内立地に対する支援を通じ、取組の有効性を把握することができるため。	4 (平成29年度～令和3年度平均)	25 (延べ)	50 (延べ)	・直近5年間の平均実績（4件）よりも、件数を増加させるため、「5者/年」を目標値として設定する。
	KPI④	中小企業者・小規模企業者の事業計画策定および伴走支援件数	件	事業計画策定の支援を通じて、中長期を見据えて安定した事業経営に取り組む事業者数を把握することができるため。	24 (令和3年度)	120 (延べ)	240 (延べ)	・第二期草津商工会議所経営発達支援計画の重点プロジェクトの目標値と整合を図り、「24件/年」を目標値として設定する。
		内、売上増加件数（前年比）			8 (令和3年度)	60 (延べ)	120 (延べ)	・第二期草津商工会議所経営発達支援計画の重点プロジェクトの目標値と整合を図り、「12件/年」を目標値として設定する。
	戦略3 活力に満ちたまちの構築と承継							
KPI⑤	愛する地球のために約束する協定者数（「草津市気候非常事態宣言」賛同者数）	者	各団体における温暖化対策等の取組の更なる促進が期待できるなど、取組の活動量を把握することができるため。	54 (令和3年度)	85	110	・第3次草津市環境基本計画（令和3年3月策定）と整合（R1の50者を維持しつつ、計画期間（R3～14年）に年間5者との締結を目指す。5者/年×12年＝60者）	
KPI⑥	観光入込客数（日帰り・宿泊客）	万人	観光振興上、重要な要素である誘客状況について、取組の成果として把握することができるため。	220.7 (令和3年)	332.0	349.0	・第6次草津市総合計画第1期基本計画（令和3年3月策定）と整合（コロナの影響による減少分をR4までに回復すると仮定し、その後（R5～）は、各年度1%ずつ上昇させるよう目標値を設定）	

参考：10年後の市内経済の目指す方向（モニタリング指標）

市内総生産 基準値（平成30年度）： 7,260億円	法人市民税納税義務者数 基準値（令和3年度）： 3,785法人	市民（所得割の納税義務者数）平均所得額 基準値（令和3年度）： 3,630千円
目標（期末時点）： 増加（基準比）	目標（期末時点）： 増加（基準比）	目標（期末時点）： 増加（基準比）